

学年通信

福島県立相馬高等学校 1 学年
令和 6 年 5 月 3 1 日 (金)



【1 学期中間考査を終えて・・・】

高校生となっではじめての中間考査は、いかがでしたか？中学校の試験に比べて問題の難易度や答えを導くまでの思考過程や暗記する事項・事象の量に違いを感じましたか？個人によって受け止め方はそれぞれ違うと思いますが、今回の結果に一喜一憂せず、しっかり反省して 6 月下旬の期末考査に備えてください。孔子は「論語」の中で、「過ちを改めざるは、これを過ちという」と説き、エジソンは、「私は失敗したことがない。ただ、1 万通りのうまく行かない方法を発見したのだ。」と言いつちました。孔子は、自らの過ちを認める素直さを、エジソンからは、超プラス思考で明るさを感じます。皆さんが、これからの勉強や学習をするうえで大切なことは、「素直に、明るく、そして、正しく」学ぼうとする姿勢を創ることです。皆さんのこれからの学校生活に期待します。

6 月は、「高校生」としての学習習慣を確立するために大切な時期です。特に「予習→授業→復習」といった授業を中心とした学習サイクルを身につけていくことが大切です。授業を理解するためには、「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルが最も効果的です。予習で教科書のわからないところを明確にして、授業でその疑問点を解決し、学んだことや理解したことを復習しながら整理することで、これからの高校の授業にもしっかりとついていくことができます。高校の授業は、ただ「受ける」だけでなく、「自分で学習する」という意識を持って取り組むことが大切です。少しずつ、この学習サイクルを定着させていきましょう。

ちなみに、予習は復習の 5 倍時間がかかると言われています。苦手科目は復習に重点を置くほうが良いでしょう。また、苦手科目は点数を伸ばしやすいです。理由は、80 点の科目を 90 点にするのと、20 点の科目を 30 点にするのでは、後者のほうが楽です。前者は応用を克服しなければならないのに対し、後者は基本内容を徹底すればよいからです。

【文理選択は人生の方向を決める第一歩】

中間考査が終わって間もないですが、6 月下旬までに、普通科の生徒は、文系・理系のどちらのコースに進むか選択することになります。文理選択は、今後の進路を決めるうえで重要な分岐点となります。詳しい説明は 6 月 5 日 (水) の文理選択講演会や LHR で行う予定ですが、各自で教室にある進路雑誌や、大学のホームページなどをチェックし考えを深めておいてください。下記は、文理選択のポイントを挙げておきました。参考にしてください。

成功パターン	NG パターン
① なりたい職業で決めた。	① 得意・不得意科目だけで決めた。
② 得意科目を活かせる方に決めた。	② 人に流されて決めた。
③ 周囲のアドバイスで決めた。	③ 興味がコロコロ変わって決められない。
④ 入試科目から決めた。	④ 苦手科目を克服する気がない。
⑤ 大学で学びたい学問から決めた。	⑤ 今のことしか考えず、フィーリングで決めた。

【6 月の主な行事】

- 6 月 1 日 (土) インターハイ県大会
- 6 月 5 日 (水) 文理選択講演会 7 時間目
- 6 月 7 日 (金) 馬陵祭クラス企画提出日
- 6 月 11 日 (火) 球技大会 (～ 12 日)
- 6 月 18 日 (火) モチベーションアップ講演会 7 時間目
- 6 月 19 日 (水) 探究活動に関する講演会 6・7 時間目
- 6 月 24 日 (月) 1 学期期末考査 (～ 27 日)

